

牧草と園藝



フロストシーディングの効果

●フロストシーディングとは？

寒高冷地での牧草の播種は原則として春播きが奨励されていますが、春～夏期の干ばつなどで発芽・定着に支障があったり、播種期間が限定され、他の農作業と重なるなどの問題もあり、その対応策として、種子の発芽が抑制される初冬季に播種を行い、種子状態で越冬させ、翌春の気温・地温などの上昇に伴って出芽・定着を図る技術です。

安定した草地造成の一方法として フロストシーディングも加えてみてはいかがでしょうか？

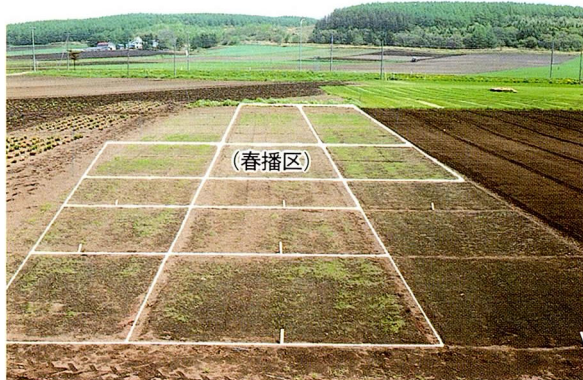


写真1 5月13日撮影
(枠内がフロストシーディング区、
写真2、3も同じ)

フロストシーディング区は4月中旬より発芽を始め、下旬には発芽揃いとなった。その後、強風のためややスタンドが乱れ、写真のような状況である。この時点で春播区は発芽始めである。



写真2 6月5日撮影

写真1の反対側からの状況。

フロストシーディング区の草丈は10cm以上に対して、春播区は3～5cm程度で雑草の発芽も目立つ。

写真3 7月5日撮影

ホクオウは出穂期、ホクセンは出穂始めである。春播区のホクオウは出穂始めであるが、6月の干ばつのため生育が悪い。

